



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月29日

上場会社名 株式会社 ドリコム 上場取引所 東  
コード番号 3793 URL <https://drecom.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 裕紀  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 後藤 英紀 TEL 050-3101-9977  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,018	△21.1	△315	ー	△354	ー	△1,022	ー
2024年3月期中間期	5,091	△12.2	472	△70.6	453	△70.7	△169	ー

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △1,010百万円 (ー%) 2024年3月期中間期 △166百万円 (ー%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△35.68	ー
2024年3月期中間期	△5.94	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	12,521	4,713	37.3	162.63
2024年3月期	14,148	5,668	39.7	196.29

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,651百万円 2024年3月期 5,615百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2025年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2025年3月期（予想）	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2025年3月期末配当予想は未定としております。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

当中間連結会計期間につきましては、当第1四半期にリリースした新規タイトル、および既存運用タイトルの状況から大きく赤字となっております。一方、2024年10月15日（当第3四半期）にリリースした新規ゲームタイトルが想定以上の推移となっており、これらを踏まえた今後の業績見通しを適正かつ合理的に算出することが困難であると判断し、2025年3月期通期連結業績予想を一時的に取り下げ、未定といたしました。

詳細につきましては、本日（2024年10月29日）公表の「特別損失の計上、および通期業績予想の修正（取り下げ）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	29,310,212株	2024年3月期	29,224,108株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	599,995株	2024年3月期	615,695株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	28,645,174株	2024年3月期中間期	28,530,632株

(注) 株式会社日本カストディ銀行(以下、「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式564,000株(議決権の数5,640個)につきましては、上記期末自己株式数に含まれております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2024年10月29日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	10
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「with entertainment」を存在意義として掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、IP×テクノロジーを軸に、多様なエンターテインメントコンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運用が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運用を行っております。また、コンテンツ事業においては、IPの保有・育成を目的として小説、コミックス等の書籍、電子書籍の出版、販売を行っている他、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。

当中間連結会計期間における業績は、売上高4,018,072千円（前年同期比21.1%減）、営業損失315,173千円（前年同期は営業利益472,280千円）、経常損失354,286千円（前年同期は経常利益453,584千円）となりました。また、当第1四半期にリリースした新規モバイルゲームタイトル1本について、将来収益の再評価を行い減損処理を行ったことで特別損失601,886千円を計上したため、親会社株主に帰属する中間純損失は1,022,028千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失169,363千円）となりました。

当中間連結会計期間における各セグメントの業績は以下の通りです。

#### ゲーム事業

ゲーム事業においては、当第1四半期に新規タイトルをリリースいたしましたが、売上が想定を下回る推移となったことから、将来収益の再評価を行い、当該ゲームアプリに関連する資産を減損処理することといたしました。現在の運用中モバイルゲームタイトル本数は10タイトルとなっており、複数の長期運用タイトルから収益を獲得しております。

売上高につきましては、受託開発案件の終了や前期にクローズしたタイトルの影響に加え、一部の運用タイトルが前年を下回る推移となったこと等により、前年同期比で減少いたしました。

利益につきましては、前期に不採算であったタイトル2本をクローズしたことによる効果はありましたが、上記の減収要因、および当第1四半期に新規自社配信タイトル1本をリリースしたことに伴う費用の増加等により、前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は3,796,631千円（前年同期比23.6%減）、セグメント利益は256,878千円（同74.0%減）となりました。主力事業である当セグメントにおいては、引き続き運用中タイトルの安定的な収益の維持に努める他、今後リリースする新規タイトルの貢献による売上、利益の増大を目指してまいります。

#### コンテンツ事業

コンテンツ事業においては、IPの保有、育成、収益化を目的として出版・映像事業に取り組む中、ライトノベルレーベル「DREノベルス」とコミックレーベル「DREコミックス」から毎月刊行を実施しております。また、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用し、Web3領域における新たな事業開発や、SNSを活用したファンマーケティング支援サービス『Rooot』『Fanflu』等を提供しております。

売上高につきましては、「DREノベルス」に加え、昨年秋から「DREコミックス」の刊行を開始しており、シリーズ累計10万部を超える人気作品を複数輩出できていることから、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、出版・映像やWeb3などの新規事業領域への投資を行っており費用先行が継続しているため、損失額が前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は224,507千円（前年同期比87.7%増）、セグメント損失は572,051千円（前年同期はセグメント損失516,418千円）となりました。当セグメントにおいては、中期的に目指す姿の実現に向け今後も投資を実施してまいります。

今後につきましては、ゲーム事業において、より強固な事業基盤を作るべく、運用タイトルへの追加投資や体制強化等を通じて長期安定的な収益の確保に努めるほか、新規タイトルのリリースによる売上成長、収益源の多様化・積層化を目指してまいります。また、ゲーム事業においてもIPを保有し育成することを目的として、PC・コンソール向けのオリジナルタイトルの開発を実施してまいります。

コンテンツ事業においては、IPを保有し育成・収益化することを目的として開始した事業を一定規模に成長させることを目指しております。また、新たな体験・市場を生み出す先進的なテクノロジーの活用を積極的に進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金や売掛金が減少したことなどから、12,521,994千円となりました (前連結会計年度末比1,626,427千円減少)。

(負債)

当中間連結会計期間末の総負債は、主に借入金が減少したことにより7,808,812千円となりました (前連結会計年度末比671,486千円減少)。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、主に親会社株主に帰属する中間純損失1,022,028千円を計上したことにより、4,713,182千円となりました (前連結会計年度末比954,941千円減少)。

この結果、自己資本比率は37.3% (前連結会計年度末は39.7%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間につきましては、当第1四半期にリリースした新規タイトル、および既存運用タイトルの状況から大きく赤字となっております。一方、2024年10月15日 (当第3四半期) にリリースした新規ゲームタイトルが想定以上の推移となっており、これらを踏まえた今後の業績見通しを適正かつ合理的に算出することが困難であると判断し、2025年3月期通期連結業績予想を一時的に取り下げ、未定といたしました。

詳細につきましては、本日 (2024年10月29日) 公表の「特別損失の計上、および通期業績予想の修正 (取り下げ) に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,937,126	4,705,633
売掛金	1,657,924	1,426,918
商品	7,990	7,786
仕掛品	44,689	73,921
前払費用	155,917	165,345
その他	563,215	123,279
流動資産合計	8,366,863	6,502,885
固定資産		
有形固定資産		
建物	191,229	191,229
減価償却累計額	△48,741	△57,298
建物 (純額)	142,488	133,930
工具、器具及び備品	87,906	88,056
減価償却累計額	△68,350	△71,752
工具、器具及び備品 (純額)	19,555	16,303
リース資産	7,232	7,232
減価償却累計額	△4,207	△4,757
リース資産 (純額)	3,025	2,475
有形固定資産合計	165,068	152,708
無形固定資産		
ソフトウェア	18,279	164,747
ソフトウェア仮勘定	4,359,472	4,408,559
無形固定資産合計	4,377,751	4,573,307
投資その他の資産		
投資有価証券	69,926	69,926
繰延税金資産	650,038	646,104
敷金	199,404	199,404
その他	319,369	377,658
投資その他の資産合計	1,238,738	1,293,093
固定資産合計	5,781,559	6,019,109
資産合計	14,148,422	12,521,994

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	329,599	327,205
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,743,850	1,738,600
リース債務	1,281	1,281
未払金	604,044	549,089
未払法人税等	61,235	81,916
賞与引当金	86,949	83,714
その他	621,140	911,663
流動負債合計	3,548,100	3,793,471
固定負債		
長期借入金	4,627,300	3,758,000
リース債務	2,243	1,602
資産除去債務	100,000	100,000
その他	202,655	155,738
固定負債合計	4,932,198	4,015,340
負債合計	8,480,298	7,808,812
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,842,360	1,870,912
資本剰余金	2,099,521	2,128,464
利益剰余金	1,926,096	904,068
自己株式	△259,894	△252,033
株主資本合計	5,608,084	4,651,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,611	16,684
為替換算調整勘定	790	1,008
その他の包括利益累計額合計	7,402	17,693
新株予約権	49,067	42,357
非支配株主持分	3,570	1,719
純資産合計	5,668,124	4,713,182
負債純資産合計	14,148,422	12,521,994

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	5,091,538	4,018,072
売上原価	3,262,237	3,059,255
売上総利益	1,829,300	958,816
販売費及び一般管理費	1,357,020	1,273,990
営業利益又は営業損失 (△)	472,280	△315,173
営業外収益		
受取利息	28	660
受取配当金	2,979	-
出資金運用益	1,614	-
還付加算金	-	1,760
その他	67	531
営業外収益合計	4,690	2,952
営業外費用		
支払利息	20,757	38,322
支払手数料	1,379	1,985
その他	1,250	1,756
営業外費用合計	23,386	42,064
経常利益又は経常損失 (△)	453,584	△354,286
特別損失		
減損損失	609,185	601,886
特別損失合計	609,185	601,886
税金等調整前中間純損失 (△)	△155,601	△956,172
法人税、住民税及び事業税	108,256	65,275
法人税等調整額	△96,191	△511
法人税等合計	12,065	64,764
中間純損失 (△)	△167,666	△1,020,937
非支配株主に帰属する中間純利益	1,697	1,090
親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△169,363	△1,022,028

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失 (△)	△167,666	△1,020,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,438	10,073
為替換算調整勘定	△3	218
その他の包括利益合計	1,435	10,291
中間包括利益	△166,231	△1,010,645
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△167,928	△1,011,736
非支配株主に係る中間包括利益	1,697	1,090

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失 (△)	△155,601	△956,172
減価償却費	110,441	143,738
株式報酬費用	21,960	23,833
減損損失	609,185	601,886
受取利息及び受取配当金	△3,007	△660
支払利息	20,757	38,322
売上債権の増減額 (△は増加)	△709,695	231,006
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△34,309	△28,975
未収入金の増減額 (△は増加)	16,180	△7,031
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△46,394	178,082
前払費用の増減額 (△は増加)	14,175	3,652
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,181	△2,393
未払金の増減額 (△は減少)	56,024	△54,954
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56,137	△17,605
前受金の増減額 (△は減少)	△18,770	△44,736
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△61,281	△3,234
その他	△27,113	△24,105
小計	△324,766	80,653
利息及び配当金の受取額	3,264	1,055
利息の支払額	△20,801	△39,358
法人税等の支払額	△456,617	△61,147
法人税等の還付額	-	269,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	△798,921	250,712
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,163	△1,028
無形固定資産の取得による支出	△1,007,214	△987,792
投資有価証券の取得による支出	△10,000	-
開発投資受入による収入	-	380,000
その他	△10	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,018,387	△608,820
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	400,000	-
長期借入金の返済による支出	△500,250	△874,550
配当金の支払額	△144,930	△119
その他	△8,573	1,066
財務活動によるキャッシュ・フロー	△253,754	△873,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	218
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,071,066	△1,231,493
現金及び現金同等物の期首残高	6,040,496	5,932,886
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,969,429	4,701,393

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

## (中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。当該契約に基づく借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
当座貸越極度額	100,000千円	100,000千円
借入実行残高	100,000	100,000
差引額	—	—

## (中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
給料及び手当	272,619千円	290,919千円
広告宣伝費	222,114	289,023
研究開発費	223,588	110,980
賞与引当金繰入額	21,661	27,565

## (中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	3,973,506千円	4,705,633千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△4,240	△4,240
その他流動資産	162	0
現金及び現金同等物	3,969,429	4,701,393

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額
	ゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,971,912	119,625	5,091,538	-	5,091,538
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,971,912	119,625	5,091,538	-	5,091,538
セグメント利益又は損失(△)	988,698	△516,418	472,280	-	472,280

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)  
1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額
	ゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	3,796,465	221,607	4,018,072	-	4,018,072
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	166	2,900	3,066	△3,066	-
計	3,796,631	224,507	4,021,138	△3,066	4,018,072
セグメント利益又は損失(△)	256,878	△572,051	△315,173	-	△315,173

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報  
「ゲーム」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結累計期間において601,886千円であります。
3. 報告セグメントの変更等に関する事項  
(報告セグメント名称の変更)  
当第1四半期連結累計期間より、「メディア事業」としていた報告セグメント名称を「コンテンツ事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。